



西小だより

7月号

令和8年7月1日

◆世界一の学校にしたい～子どもたちの願いを力に～◆

梅雨の合間に夏の気配を感じる頃となりました。蒸し暑い日が続く中でも、子どもたちは毎日の学習や活動に意欲的に取り組み、仲間と支え合いながら成長を続けています。

本校では、「安心して挑戦できる学校づくり」を大切にしながら教育活動を進めています。にこにこプロジェクトは、その学校づくりを子どもたちの日々の行動につなげる取組です。

7月の重点目標は、「廊下や階段の右側を歩こう」です。

廊下や階段を右側通行で歩くことは、単なる約束事ではありません。互いの安全を守り、安心して学校生活を送るための思いやりの行動です。安全は誰かに守ってもらうものではなく、一人一人がつくり出すものです。子どもたちには、この取組を通して、自分自身と仲間の命や安全を大切にする意識を育ててほしいと願っています。

さて、6月11日に開催した学校運営協議会では、5・6年生代表児童、地域の皆様、保護者の皆様、教職員が参加し、「優しい言葉を使おう」「廊下や階段の右側を歩こう」「時間を守ろう」の3つのテーマについて熟議を行いました。子どもたちは、「今できていること」「課題に感じていること」「もっとよくするためにできること」を真剣に話し合いました。

熟議では、子どもたち自身が取り組めることとして、「全校集会で寸劇をして手本となる行動を示す」「高学年が休み時間の終わりに下級生へ声をかける」などのアイデアが出されました。一方で、地域や保護者、教職員からは、「夜、決まった時間に寝る習慣をつくる」「優しい言葉が載っている本の読み聞かせをする」「大人自身が時間を守る姿を示す」など、子どもたちの成長を支える多くの意見が出されました。学校をよくするのは子どもたちだけではありません。子どもたちが主体となって考え、行動し、その挑戦を地域や保護者、教職員が支える。その関係こそが、今回の熟議の大きな価値であると感じています。

熟議の最後に、学校運営協議会の松根会長から6年生代表児童へ感想を尋ねる場面がありました。すると、「この会に参加して良かったです。」という言葉に続いて、「もっとよい学校にして、世界一の学校にしたいです。」という発言がありました。その言葉を聞いた瞬間、私は胸が熱くなりました。学校をよくしたいという思いは、誰かに言われて生まれるものではありません。自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしたいという願いから生まれるものです。今回の熟議を通して、子どもたちの中にその芽が確かに育っていることを感じました。地域の皆様が学校を支え、保護者の皆様が家庭から子どもたちを見守り、教職員が子どもたちの挑戦を後押しします。そして、子どもたち自身が自分たちの学校をよりよくしようと行動します。

「学校は誰かにつくってもらうものではなく、みんなでつくっていくものです」

子どもたちの「世界一の学校にしたい」という願いは、まさにそのことを教えてくれました。今回の熟議で生まれたアイデアは、これから高学年の子どもたちが中心となり実践へとつなげていきます。私たち教職員も、子どもたちの願いを胸にその思いを支えながら、よりよい学校づくりを進めていきます。



校長 檜室 豊

すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

保幼小中合同引き渡し訓練



6月10日(水)に、保育園、幼稚園、小学校、中学校が連携して、合同の引き渡し訓練を実施しました。令和6年度からはじまった町内小中学校合同での訓練ですが、今年度は新たに保育園、幼稚園も連携しての実施となりました。当日は、児童クラブの指導員さんにご協力いただき、安全かつ確実に児童を保護者へ引き渡すことができました。この訓練は、災害等の有事の際に子どもたちの「いのちを守る」大切な取組です。実際の災害時には、交通事情等により、すぐにお迎えに来られない場合も考えられます。そのようなときどのようにするか、ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。訓練へのご協力ありがとうございました。

給食試食会(1年生)・授業参観・学校保健安全委員会



6月18日(木)に、1年生保護者対象の給食試食会、授業参観、学校保健安全委員会を実施しました。給食試食会、授業参観には、多くの方にご参加いただきました。また、学校保健安全委員会では、「眠育」をテーマに、5、6年生児童とともに保護者の方にもご参加いただき、睡眠の大切さやよい睡眠をとるための方法について学ぶことができました。

望ましい行動を増やしていくために
子どもたちのすてきな姿教えてください。



学校に来られた際や
下記QRコードでも
可能です。
学校昇降口に掲示さ
せていただきます。